



日本小文典
上編

服部文庫
417
2201



117 卷
2201

日本小文典上篇

目錄

- 第一課 總論
- 第二課 音ノ名称
- 第三課 音ノ區別
- 第四課 發音
- 第五課 反切
- 第六課 音便
- 第七課 同
- 第八課 同

117.2351

- 第九課 同
- 第十課 文字
- 第十一課 同
- 第十二課 假字
- 第十三課 同
- 第十四課 同
- 第十五課 國語

小文典上篇



第一課

服部元彦稿

文典ハ文法ヲ説キ明^ルス所ノ書ナリ
 文法トハ正シキ文章ヲ綴ラシメムガ為ニ詞ノ
 組織法ヲ教フル學課ヲ云フ
 文章ハ人ノ思想ヲ書キ現^スタメニ必用ナルモ
 ノナリ
 花^{ハナ}咲^{サキ}て甚^{シク}だ見^ミ事^{コト}あり。
 カクノ如キモノヲ文章ト云フ (純粹國語ニテ

ハコレヲ布美ト云ヒ英語ニテハ Sentence.ト云フ文章ト云フハ漢語ナリ

文章ハ三ツ以上ノ詞ヨリ成リ立ツモノナリ
詞ハ名詞動詞及ビ助辭ノ三ツヲ以テ備ハレルモノナリ

詞ハ人ノ思想ヲ現ハス符牒ナリ

古ハ言文一致ナリシガ今ハ全ク分離シタレバ
コノ小文典ハタゞ文章ノ上ニ付キテ其ノ規則
ヲ説キ明ヌモノナリ

復習
文典トハ如何ナル書ヲ云フカ。詞ハ何ノ為ニ用ケルカ。文章トハ如何。

第二課 音ノ名称

音聲ハ詞ヲ云ヒ現スタメニ必用ナルモノナリ。
我國ノ單直ナル音聲ハ合セテ五十アリ
コノ音聲ヲ順序正シク組ミ立テタルモノヲ五十連音ト云ヒ又單ニ五十音トモ云フ

五	ア	イ	ウ	エ	オ
カ	キ	ク	ケ	コ	
サ	シ	ス	セ	ソ	
タ	チ	ツ	テ	ト	

連音圖

十	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ
ニ	ヒ	ミ	レ	リ	キ
ヌ	フ	ム	エ	ル	ク
ネ	ヘ	メ	エ	レ	カ
ノ	ホ	モ	ヨ	ロ	コ

右ノ組立ニハ縦横共ニ大ナル關係アルガ故ニ
 一音ト虽ミダリニ位置ヲ變轉スベカラズ
 カク五韻ツ、十行ニ組ミ立テタル内。アイウエ
 オノ件ヲ安行ト呼ビ、カキクケコノ件ヲ加行ト

呼ビ、サシスセソノ件ヲ佐行ト呼ビ、タチツテト
 ノ件ヲ多行ト呼ビ、ナノ件ヲ奈行ト呼
 ビ、次ヲ波行、次ヲ麻行、次ヲ也行、次ヲ羅行、次ヲ和
 行ト呼ブナリ
 又ア、カ、サ、タ、チ、ハ、マ、ヤ、ワノ横ノ段ヲ第一韻ト
 呼ビ、イ、キ、シ、フ、ニ、ヒ、リ、ホノ段ヲ第二韻ト呼
 ビ、ウ、ク、ス、ツ、ヌ、フ、ム、ル、ウノ段ヲ第三韻ト呼ビ、
 エ、ケ、セ、テ、ネ、ヘ、メ、エ、レ、只ノ段ヲ第四韻ト呼ビ、オ
 コソトノホモヨロヲ、段ヲ第五韻ト呼ブナリ。
 コノ五十連音ノ中、加佐多波ノ四行ハ變化シテ

濁音トナルノ左ノ如シ

濁音

ガギグゲゴ
サシズゼゾ
タチツテト
バビブボ

又波行ハ再^レ變化シテ半濁音トナルノ如シ

ハ^ハ ^ハピ ^ハフ ^ハペ ^ハホ

濁音及ビ半濁音ハ純粹國語ニ稀ニシテ外國語ニ多シ

五十連音ヲ直音ト云ヒ直音ヲ重ネテ急聲ニ呼

ブモノヲ抑音ト云フ

抑音ハ合セテ一百アリ上ニ第二韻第三韻ヲ置キ下ニ也行及ビ和行ヲ置キテ成レルモノナリ即チ九回ノ如シ

アヤ 倭 哇 工 柏

カヤ 精 欠 ヶ 科 可

サヤ シン スシ セシ ソシ

タヤ 夕 夕 夕 夕 夕

抑

音 四

ハ	キ	ク	ケ	コ
ヒ	フ	ブ	ヘ	ホ
カ	キ	ク	ケ	コ
キ	フ	ブ	ヘ	ホ
ク	キ	ク	ケ	コ
ケ	フ	ブ	ヘ	ホ
コ	キ	ク	ケ	コ
コ	フ	ブ	ヘ	ホ

抑音ハ漢字ノ音及ビ他ノ外國語ヲ呼ブ時ニ多

ク用ル音ナリ

復習

音ハ如何ナルモカ。直音ハイタクツ
 アルカ。五十連音トハ何ゾ。行及ビ
 韻ト如何。抑音ノ組立ヲ記セ。抑音ハ
 如何ナル。抑音ノ組合ニ用テ幾ツアルカ。
 抑音ノ數ハ場合ニテ幾ツアルカ。

第三課 音ノ區別

五十連音ハ母韻及ビ子韻、ニヨリ成リ立テル
 モノナリ

母韻ハ子韻ヲ生ミ出スベキ原音ニシテ舌及ビ
 唇等ヨリ障ナク思フマ、ニ云ヒ出スヲ得ル
 音ニシテ其數五アリ

ア イ ウ エ オ

コレナリ

子韻ハ舌及ヒ唇ニ多少障アリテ思フマ、ニ云
ヒ出ス一ラ得マ音ニシテ其数四十五アリ五十
連音ノ中ア、イ、ウ、エ、オノ母韻ヲ除キタル外ハ皆
コノ子韻ナリ

試ニ五十連音ノ子韻ノ中何ノ行ニテモ其ノ第
一韻ヲ長ク呼ビ試ル中其ノ音尾ハ必ス母韻
ノ第一韻ト同シ音ヲ残スベシ
タトヘハ加ノ音ヲ引ケバ加安トナリ波ノ音ヲ

引キテモ波安トナリ也ノ音ヲ引キテモ亦也安
トナルカ如シ

第二韻第三韻第四韻第五音共ニ同ニ事ナリコ
レ子韻ハモト母韻ヨリ産ミ出サレタルモノナ
レバナリ

復習

母韻子韻ノ區別并ニ其例ヲ示スベ
シ。リ産キ、口、ハ、ノ三音ハ各何レヲ母韻ヨ
リ何ナル学出ダサレタルカ。直音ノ法トハ如
ト何ハ各何レ課ラ云フカ。属スルカ。エト和
ト何ハ各何レ爲ニ行ニ属スルカ。墨書ノ及
ト何ハ各何レ爲ニ行ニ属スルカ。墨書ノ及
ト何ハ各何レ爲ニ行ニ属スルカ。墨書ノ及

第四課

發音

音聲ハ喉齒牙舌及ヒ唇ノ五ヶ所ノ作用ニヨリ
 テ各發シ出サレ、ナリ
 發音ノ關係ハ左圖ノ如シ

音 發					
					喉
			齒		
				牙	
		舌	舌	舌	
唇	唇				
ア イ ウ エ オ	ハ ヒ フ ヘ ホ	カ キ ク ケ コ	サ シ ス セ ソ	タ チ ツ テ ト	ナ ニ ヌ ネ ノ

回

喉		喉
	舌	
ワ ヰ ウ ヱ ヲ	ラ リ ル レ ロ	ヤ シ ユ エ ヨ

安行也行和行ハ喉ヨリ發スル音ナルガ故ニコ
 レラ喉音ト呼ビ加行ハ牙ヨリ發スルガ故ニコ
 レラ牙音ト云ヒ佐行ハ舌及ヒ齒ヨリ發スルガ
 故ニ舌齒音ト云ヒ多行奈行良行ハ舌ヨリ發ス
 ルカ故ニ舌音ト云ヒ波行麻行ハ唇ヨリ發スル
 カ故ニ唇音ト云フナリ
 又第一第二第四第五韻ヲ開音ト云フ口ヲ開カ

サレハ發音セザルガ故ナリ
第三韻及ビ和行ヲ合音ト云フ口ヲ閉ヂ合セサ
レハ發音スルヲ能ハザルガ故ナリ
言語ノ發音ニ四ツノ區別アリ

平聲

上聲

去聲

入聲

コレナリ

第五課 反切

二音ヲ約メテ一音ニ呼ブコトアリコレヲ反切ト云フ

反切ハ称呼ニ便ナラシムルガタメ反切ノ規則ニヨリテ二音ヲ一音ニ約ムルモノナリ

反切スベキ音ノ上ヲ父位トシ下ヲ母位トス

反切ハ五十連音ノ順序ニ從テ行フ事ヲ得ルモノナリ

反切シテ二音ノ一音ニ約リタル所ヲ歸納ト名

十

ツク

今コ、ニ反切ノ例ヲ掲ケテ其規則ヲ説明スベ

シ

一けくヲ約メテくトスル例

か
か
き

か
か
き



け
け
こ
こ

二そたヲ約メテそトスル例

さ
し
す
せ

あ
い
う
え



三らくヲ約メテるトスル例

ら
り
る
れ
ろ



反切セントスルニハ先ツ古ノ如ク父位ノ音ノ
 アル行ヲ記シ次ニ母位ノ音ヲアル行ヲ並ベテ
 父位ヨリ母位ニ一線ヲ引キ其ノ母位ト同韻ナ
 ル父位ノ音アル行ノ内ニ再ヒ其ノ線ヲ屈曲セ
 シムベシ其ノ線ノ留リ當ル所即チ歸納ナリ
 又漢字ハ別ニ韻鏡ニヨリテ其ノ規則ヲ學バザ
 レバ正シキ反切ヲナス不能ハス
 然レ氏上ニ説明シタル規則ニヨリテモ反切ス
 ルトハ得ルナリ
 今其ノ方法ヲ下ニ解カン

凍先候切

トアル中ハ左ノ如クシテ反切ヲ試ルベシ

先^セ候^コ

右ノ如ク上ノ^コラバ除キ去リテ下ノ^ウラバ補
 ヒ置キテ先^セ候^コセ^セコ^コヲ反切セバ歸納ソトナルベ
 シヨリテ前ニ補ヒ置キタル^ウヲ其ノ下ニ添フ
 ル時ハソウトナルコレ即チ凍字ノ音ナリト知
 ルベシ
 又

音便トハ称呼ニ便ナラシムムガタメニ原音ヲ
 轉ジテ他音ニ呼ビ換フルヲ云フ
 原音ヲ他音ニ呼ビ換フルニ二種ノ區別アリ
 其ノ第一種ハ原音ヲ他ノ類似セル音ト混淆シ
 テ同音ノ如ク呼ビナスヲコレナリ
 コノ混淆シ易キ音ハツアリ左ノ如シ

- 一 イ レ 牛 ヒ
- 二 ウ 于 フ
- 三 エ エ 上 ヘ
- 四 オ ラ ホ

- 五 ジ ギ
- 六 ズ ツ
- 七 ニ ヌ ム ン
- 八 ハ ワ

コレラ古ハ皆明瞭ニ呼ビ分ケタレト後世混淆
 シテ今ハ各人ノ通例判断ニ苦ム所ナレバコ、
 ニハ別ニ例ヲ擧ゲズ下篇ナル假字用格ノ條ヲ
 読マバ自ラ明カニ了解スルヲ得ム

右ノ外漢字ノ音ニ於テ大凡十二種ノ類似音アリ
 左ノ如シ

廿九。くわい
廿八。くわい

廿四	廿三	廿二	廿一	廿	十九	十八	十七	十六	十五	十四	十三	十二	十一	十
きう。	かかん。	かかん。	かかん。	かかん。	かかん。	かかん。	かかん。	かかん。	かかん。	かかん。	かかん。	かかん。	かかん。	かかん。
きふ。	くわん。	くわん。	くわん。	くわん。	くわん。	くわん。	くわん。	くわん。	くわん。	くわん。	くわん。	くわん。	くわん。	くわん。

十六。

十五。

十四。

十九 十八 十七 十六 十五 十四 十三 十二 十一

えい。 えい。 えい。 いん。 いん。 いん。 いん。 いん。 あう。

えい。 えい。 えい。 いん。 いん。 いん。 いん。 あふ。

やう。 いん。 いん。 いん。

よう。 いん。 いん。 いん。

わう。

四十四 卅九 卅八 卅七 卅六 卅五

ちう。 たう。 ずぬ。 すぬ。 ーやう。 ーい。 ーん。 ーよ。 ーん。

ちふ。 たふ。 ずい。 すい。 ーや。 ーふ。 ちん。 ちよ。 ちん。

ちう。 と。 づめ。 づい。 せう。 ーい。 せふ。

卅

三十四 卅三 卅二 卅一 卅 廿九 廿八 廿七 廿六

ーぬ。 ーやく。 ーや。 ーつ。 ーく。 ーき。 ー。 さう。 くぬ。 きやう。

ちぬ。 ちやく。 ちや。 ちつ。 ちく。 ちき。 ち。 さふ。 くい。 きやう。

ちぬ。 ちやく。 ちつ。 ちく。 ちき。 ち。 さう。 けう。 けふ。

復習

混濁シ易キ音ノ種類ヲ述ベヨ
漢字ノ音ニ於テハ何ルカ
音ノ記シタル者ハ其ノ
音ヲ悉ク記載スベシ
其ノ音ノ種類アリ

第七課

音便

其ノ第二種ハ音便ノ規則ニヨリテ原音ヲ全ク

他音ニ呼ビ換フルモノナリ

原音ヲ全ク他音ニ呼ビ換フル音ニ五ツノ區別アリ

一 い
二 う

音ノ及ビ志ヲコノ
音ノ呼ビ換フル音ニ五ツノ區別アリ

三 つ

詞ノ下ニ多行ノ音アル
其ノ上ニ入聲ヲ添ヘテ
呼ビ換フル音ニ五ツノ區別アリ

四 ん

音ノ呼ビ換フル音ニ五ツノ區別アリ

五

第一音便

音ノ呼ビ換フル音ニ五ツノ區別アリ

おきたま 置賜

かきあで

キキキ

后

塙直たま

塙玉

サキはひ

幸

すきあき

透垣

つきひぢ

築土

あきたまふ

泣き給ふ

あいたまふ

はきだて

佩角

あるべき

可有

ラ おいたま

ラ かいたま

ラ キキキ

ラ サキはひ

ラ すきあき

ラ つきひぢ

ラ あきたまふ

ラ はきだて

ラ あるべき

めきて

ラ めいて

やきど

焼處

ラ やいと

わきだめ

差別

ラ わいだめ

あいた呼び換フル例

あいた

朝

ラ あいた

まして

况

ラ まいて

漢語ノ熟字ヲ呼フ時上或ハ下ニ志ト云フ音有

リテ其ノ上若クハ下ニ他ノ直音アル片ニイト

云フ韻ヲ加ヘテ呼フ例

詩歌

志か

ラ 志いか

書きて

行きて

等ハ音便ノ用ナレラ

善し

善し

等ハ三ツ便ノ用ナレラ

ひ

ひ

へ	つらへまつる	客人	奉仕	つらへまつる
ひ	あきびと	商人	ラ	あきびと
	あひて	逢而	ラ	あひて
	おひて	逐而	ラ	おひて
	おもひて	思而	ラ	おもひて
	かたひと	中人	ラ	かたひと
	かりびと	獵人	ラ	かりびと
	くらびと	藏人	ラ	くらびと
	たまひけり	給いけり	ラ	たまひけり
	まれびと	客人	ラ	まれびと

ま

まへつぎみ	大臣	マ	まへちぎみ
まほし	直衣	マ	まほし
まほらひ	直會	マ	まほらひ
たまへ	給へ	マ	たまへ

か

かみかき	髪搔	カ	かみかき
かみち	小路	カ	かみち
かみつけ	上野	カ	かみつけ
かみづ	首又神戸	カ	かみづ
かみづ	手水	カ	かみづ
かむじ	柑子	カ	かむじ

四

漢語ノ熟字ヲ呼ブ片ニ同ニ行ノ音ノ重ナル片又ク上ノ字ヲツクキノ入声ノ音ナル時漢語ノ熟字ニシテ其ノ音ヲフ入声ニ呼ビ換フルモノ

のりとる	にひた	たふとし	たちて	おひて	おひて
法	新田	貴	立而	從而	從而
ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ
のりとる	にひた	たふとし	たちて	したがつて	おつて

一甲

か₂

一

か₁

二

三

のりとる	にひた	たふとし	たちて	おひて	おひて
法	新田	貴	立而	從而	從而
ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ
のりとる	にひた	たふとし	たちて	したがつて	おつて

か ₂	か ₁	か ₂	か ₁	か ₂	か ₁
またく	あはれ	またく	あはれ	またく	あはれ
ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ
またく	あはれ	またく	あはれ	またく	あはれ

か ₂	か ₁	か ₂	か ₁	か ₂	か ₁
またく	あはれ	またく	あはれ	またく	あはれ
ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ
またく	あはれ	またく	あはれ	またく	あはれ

か ₂	か ₁	か ₂	か ₁	か ₂	か ₁
またく	あはれ	またく	あはれ	またく	あはれ
ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ
またく	あはれ	またく	あはれ	またく	あはれ

四甲

が 学校

学校

が がかう

日本 ほん

日本

に っぽん

赤 せき

赤 縣

せ っけん

は つか

薄 荷

は っか

ら ぐわ

落 花

ら ぐわ

た けん

卓 見

た っけん

あ つか

悪 口

あ っつか

四乙

あ つか

悪 口

あ っつか

た けん

卓 見

た っけん

ら ぐわ

落 花

ら ぐわ

が つか

楽 器

が っつか

あ つか

悪 口

あ っつか

三

あ つか

悪 口

あ っつか

甲

か かり

冠

か かり

あ きんど

高 人

あ きんど

くら んど

藏 人

くら んど

い ろん

如 何

い ろん

た に さく

短 冊

た に さく

た に は

丹 波

た に は

あ ら ぬ

不 有

あ ら ぬ

あ ら ぬ

童

あ ら ぬ

あ ら ぬ

童

あ ら ぬ

あ ら ぬ

童

あ ら ぬ

あ ら ぬ

童

あ ら ぬ

あ ら ぬ

童

あ ら ぬ

あ ら ぬ

童

あ ら ぬ

あ ら ぬ

童

あ ら ぬ

三十四

あ ら ぬ

三十四

あ ら ぬ

も	む	み	ほ	
ねんごら	かむあぎ ほむだ	あそみ をみふ いみべ	かみさし ほとく	しひとり
怨	巫 養田	朝臣 女 忌部	筭 殆	主水
ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ
ねんごら	かんなぎ ほんだ	あそん をんあ いんべ	かんざし ほとんど	もんど

り	る	ろ
くだり	よるのおと あるべき	まふ
ノ件	可有	真字
ヲ	ヲ	ヲ
くだり	あんべい	まんあ
	夜御殿	
ヲ	ヲ	ヲ
よんのおと	さんじき	あらずんば
	假廢	あくんば
	不有者	無者
	あふずんば	

第五種音便漢語の熟字ニシテ上ニ捺下ニハ其ノ阿行和行ノ音アリ

下ニ阿行和行ノ音アルハ其ノ阿行和行ノ音

ニ捺音ニ変セラレテテ奈行ノ同韻ト変スルア

二十五

リ即チ左ノ如シ
一韻 アヤワ
二韻 イ井
三韻 ウウ
四韻 エエ
五韻 オラ
一 アヤワノ音ノ十ト變化スル例

ナ

ニ

三

四

五

一

阿 銀杏 鴛鴦 奈

和 天皇 仁和 奈

二 仁 和 奈

伊 延引 探出 仁

為 源三位 官員 仁

葉 伊 芳

三ウ、又ト变化スル例

宇 云々 紡 紡 紆 紆 奴

四工、音ノ初ト变化スル例

江 因縁 万葉 祢 祢

惠 輪廻 純因衛門 祢 祢

五和ヲ、音ノ初ト变化スル例

於 観音 十萬億土 能 能

遠 桓温 玄翁 能 能

コノ第五種ノ音便モ口述ノ片ニ限り其ノ音ヲ
ハ变化セシムベシト虽コレヲ正シク書キ記ス
中々其ノ假字ヲ音便ニ呼ブ中ノ如ク变化セシ

ムベカラズ
復習

第十課 文字

文字ハ言語ヲ書キ現ハス符牒ナリ

文字ヲ分ケテ二種トス

真字

假字

コレナリ

本邦上古ニハ文字ト云フモノ無カリシガ紀元
九百四十餘年應神天皇ノ御世始テ漢字渡来セ
リコレ即チ真字ニシテ今吾人が平常使用スル
所ノ文字コレナリ



